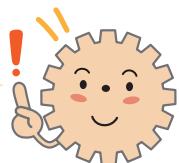


09

【離床前の評価】 臨床上における起立性低血圧発生の 予測因子（チェックリスト）

離床前に「ココだけは！」という点に絞って、チェックポイントをまとめてみました。

大きく分けて①薬剤、②脱水、③長期臥床（圧受容器反応性低下）の3つあるよ！
1つでも当てはまれば起立性低血圧が生じるリスクが高いから要注意だよ！



長期臥床が続いているか？（圧受容器反応の低下）



血圧を低下させるような薬剤を服用していないか？^{*1}

（例） α/β ブロッカー、抗うつ薬、降圧薬、抗精神病薬、利尿薬、鎮静薬、睡眠薬、血管拡張薬など

脱水は生じていないか？（BUN/Cre: 20↑、Ht: 55%↑、水分in-outバランス↓）

下痢・嘔吐はしていないか？（循環血液量の低下、電解質バランスの乱れ）

姿勢変換時に生じためまいは3分以内^{*2}で落ち着くか？



*1 詳細は「薬剤の作用と影響」の項目を参照。

*2 めまいが生じたら、患者さんの状態に合わせて3～5分程度様子をみる。症状が3分以内で落ち着いた場合は起立性低血圧、3分以上経っても落ち着かない場合は、血管迷走性疾患の可能性が高い。